【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年8月2日(2024.8.2)

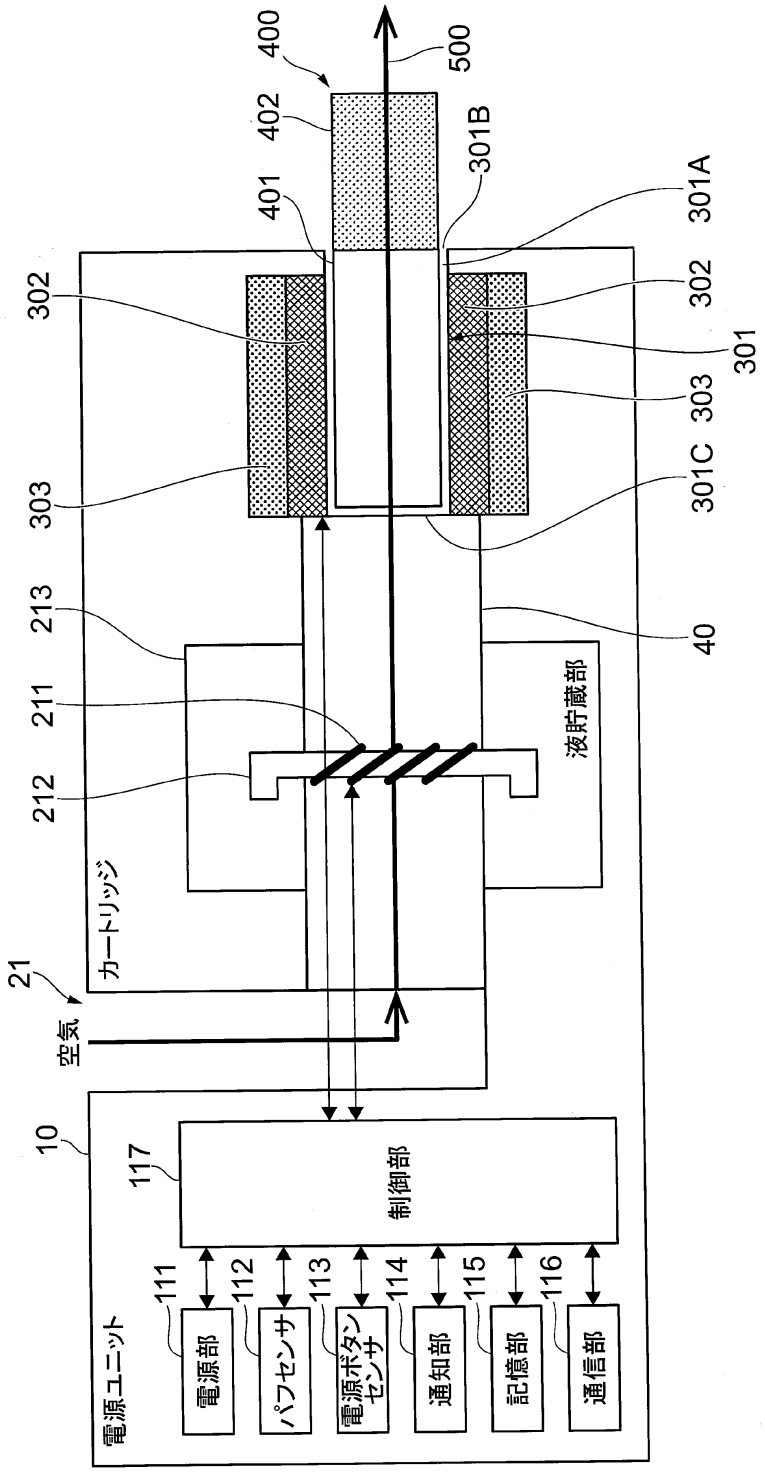
【国際公開番号】WO2023/089761
【出願番号】特願2023-562040(P2023-562040)
【国際特許分類】
Ａ２４Ｆ 40/50(2020.01)
Ａ２４Ｆ 40/51(2020.01)
【ＦＩ】
Ａ２４Ｆ 40/50
Ａ２４Ｆ 40/51

【手続補正書】
【提出日】令和6年5月13日(2024.5.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本開示は、エアロゾル生成装置の回路ユニット、エアロゾル生成装置及びプログラムに関する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本開示は、エアロゾル生成装置におけるエアロゾル源の残量が少ない場合における吸引中の液枯れを抑制する技術を提供する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本開示の一態様によれば、エアロゾル源を加熱する負荷への電力の供給を制御する制御部を有し、前記制御部は、エアロゾル源の残量が第１の残量より少ない場合、エアロゾルの前回の吸引と今回の吸引までの間隔の長さの長短の判定に使用する第１の期間を基準値よりも長い値に設定する、エアロゾル生成装置の回路ユニットが提供される。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項１記載の開示によれば、エアロゾル生成装置におけるエアロゾル源の残量が少ない場合における吸引中の液枯れを抑制できる。
請求項２記載の開示によれば、エアロゾル生成装置に設けるセンサの数を少なくできる

。
請求項３記載の開示によれば、実際の残量に基づいた制御を実現できる。
請求項４記載の開示によれば、吸引と吸引の間隔が短い状態が続くほど、吸引の間隔が短いと判定され易くできる。
請求項５記載の開示によれば、直近の間隔よりも長くすることで、吸引の間隔が短いと判定され易くできる。
請求項６記載の開示によれば、エアロゾルの発生を伴う加熱に先立ってエアロゾル源を加熱する場合には、エアロゾル源の残量が少なくても、本加熱時間の短縮回数を少なくできる。
請求項７記載の開示によれば、吸引と吸引の間隔が短い状態が続くほど、吸引の間隔が短いと判定され易くできる。
請求項８記載の開示によれば、直近の間隔よりも長くすることで、吸引の間隔が短いと判定され易くできる。
請求項９記載の開示によれば、エアロゾルの発生を伴うか熱に先立つエアロゾル源の加熱によりエアロゾルの発生が促進されるため、エアロゾルの発生のために供給する電力量を減少できる。
請求項１０記載の開示によれば、液枯れが発生しやすい環境が検知された場合にも、液枯れを抑制できる。
請求項１１記載の開示によれば、液枯れが発生しやすい環境が検知された場合にも、液枯れを抑制できる。
請求項１２記載の開示によれば、エアロゾル生成装置におけるエアロゾル源の残量が少ない場合における吸引中の液枯れを抑制できる。
請求項１３記載の開示によれば、エアロゾル生成装置におけるエアロゾル源の残量が少ない場合における吸引中の液枯れを抑制できる。
請求項１４記載の開示によれば、エアロゾル生成装置におけるエアロゾル源の残量が少ない場合における吸引中の液枯れを抑制できる。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
以下、図面を参照して、本開示の実施の形態を説明する。各図面には、同一の部分に同一の符号を付して示す。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１３５】
＜他の実施の形態＞
以上、本開示の実施の形態について説明したが、本開示の技術的範囲は前述した実施の形態に記載の範囲に限定されない。前述した実施の形態に、種々の変更又は改良を加えたものも、本開示の技術的範囲に含まれることは、特許請求の範囲の記載から明らかである。
【手続補正７】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１１
【補正方法】変更
【補正の内容】

【請求項１１】
エアロゾル源の温度を検知する第３のセンサを更に有し、
前記制御部は、第３のセンサで検知された温度が第４の温度に達した場合、その時点で、前記負荷の加熱を強制的に終了する、
請求項１～９のうちいずれか１項に記載のエアロゾル生成装置の回路ユニット。
【手続補正８】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図２６
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図２６】


400
500
402
301B
401
301A
302
302
301
303
303
301C
213
40
211
液貯蔵部
212
カートリッジ
21
空気
10
117
制御部
111
112
113
114
115
116
電源部
パワセンサ
電源ボタンセンサ
通知部
記憶部
通信部
電源ユニット